

## ベトナム情報レポート（2021年5月31日）



スマート技術事業や大学など多岐に渡る事業を展開する地場系コングロマリットである Phenikaa Group（フェニカーグループ）というベトナム企業が自動運転電気自動車をお披露目しました。自動運転レベル4ということでレベルは高いようです。

「レベル4の特徴は、レベル3とは違って緊急時にも運転手に対応せず、全てシステム側が自動運転の主体として責任を持つことにある。つまり運転手は運転操作に参加することは想定されていない。」ということで、最先端技術を駆使したローカルメーカーが出てくることは非常に頼もしいと思います。

ベトナムのコロナ状況が悪化しています。今までで一番脅威に晒されていると思います。北部のバクザン省では工業団地が閉鎖したので、日系製造業に連絡してみました。全員のPCR検査、工場から外に出ないよう工場への泊まり込みを強制されており、約2週間操業停止状態という事で大変な状況となっております。その企業さんはPCR検査全員陰性だったこともあり、6月上旬に操業開始出来るかもしれないということです。

ホーチミンも5月31日から社会的隔離措置が適用され、公共の場で10人以上集合しない、スポーツやエンタメ関連は全て活動中止、ハノイやホーチミンから他地域への渡航に制限をかけています。

新たな変異種も見つかっており、空気感染すると言われていたことから、以前の様な抑え込みは今回は難しいのではと言われていたのですが、初動の早さは相変わらずで、私の知り合いによると、同じマンションでコロナが発生し全世帯が外出禁止になっているとのこと。